

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成22年12月2日(2010.12.2)

【公表番号】特表2009-535188(P2009-535188A)

【公表日】平成21年10月1日(2009.10.1)

【年通号数】公開・登録公報2009-039

【出願番号】特願2009-510044(P2009-510044)

【国際特許分類】

A 6 1 N 1/05 (2006.01)

【F I】

A 6 1 N 1/05

【手続補正書】

【提出日】平成22年10月15日(2010.10.15)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

平滑筋緊張を局所的に制御するための装置であって、該装置は、

動脈内に挿入するための第1電極と、

第1電極を包囲する、第1電極が動脈壁と接触することを防止するための障壁と、

第2電極と、

電力供給装置と、

前記電力供給装置を前記電極に接続するための制御装置とを備え、前記制御装置は、前記電極に平滑筋緊張の分極を制御するための波形を維持させるように構成され、かつ、前記波形を生成して該波形を心周期と同期させるように構成される、装置。

【請求項2】

前記障壁は第1電極を受容するための管腔を画定するステントを備える、請求項1に記載の装置。

【請求項3】

前記障壁は第1電極を包囲するハウジングを備える、請求項1に記載の装置。

【請求項4】

前記障壁は第1電極を包囲するかごを備える、請求項1に記載の装置。

【請求項5】

第1電極はステントを備える、請求項1に記載の装置。

【請求項6】

第1電極はカテーテルの先端チップを備える、請求項1に記載の装置。

【請求項7】

第2電極は患者の皮膚上に配置するための導電パッドを備える、請求項1に記載の装置

。

【請求項8】

第2電極はカテーテルの先端チップを備える、請求項1に記載の装置。

【請求項9】

前記制御装置は、極性が交番するパルスを有する波形を生成するように構成される、請求項1に記載の装置。

【請求項10】

前記制御装置は、単一極性のパルスを有する波形を生成するように構成される、請求項1に記載の装置。

【請求項11】

心周期を示すデータを前記制御装置に提供するためのセンサをさらに備える、請求項1に記載の装置。

【請求項12】

第1電極付近の局所における血圧を示すデータを提供するためのセンサをさらに備える、請求項1に記載の装置。